

令和6年度
事業報告並びに決算報告書

令和6年度 横浜市港北区社会福祉協議会 事業報告

令和6年度は、地域での福祉活動が活発に動き出ししましたが、助成金の申請団体を見ると担い手確保の課題から活動再開できない団体も多く見られました。一方、子どもを対象とした地域食堂などは新たな活動が多く立ち上がっています。

担い手確保の課題については、地区社協分科会にプロジェクトを設け各地区の取組事例を共有しました。

第5期地域福祉保健計画の策定に向けては、区域での検討部会の開催や地区別計画の策定支援を行いました。盛り込む視点には、人と人のつながりづくりからの住民の参加・参画、子どもの健やかな成長を支える、災害に備えた取組などがあがっています。

また、本会の組織運営や活動に信頼を寄せ、協力いただいている地域や関係機関からの期待に応えられるよう、コンプライアンスの意識を高め、事務・事業の適正化や事件・事故の防止に努めるとともに、ワークライフバランスの推進や職場環境の改善に取り組ましました。

【重点取組】

1 心配ごと・困りごとへの対応

ボランティアセンター、移動情報センター、あんしんセンター、生活福祉資金貸付事業、食支援の取組など個別の支援から生活課題などを把握し関係機関と協力のもと解決を図るとともに地域で支えあう体制づくりを進めました。

- ・権利擁護事業では、各地区社協との懇談会において事業説明を行い、地域で困りごとを抱えながら生活されている方の課題の一端を共有しました。
- ・寄付品やフードドライブでの食料品を活用し、区役所や地区社協、民生委員・児童委員と連携し困りごとを抱える方の食支援や地域食堂などの支援を行いました。

2 身近な地域における支えあいの推進

身近な地域の困りごとを受けとめ、支えていく視点で地域支援を推進しました。

- ・地域食堂の立上げ支援を行い、課題を持った子どもの支援を行いたいという地域の方の思いを形にしました。
- ・地域情報を支援機関（本会、地域ケアプラザ、区役所など）が共有することで、地域ニーズの把握を行い具体的な地域活動について検討しました。

3 地区社協活動・小地域活動の支援

「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」へ向けて、住民とともに身近な地域での「つながり・支えあい」を進める本会の強みを活かす支援に取り組ましました。

- ・地区社協のネットワーク力による地域のつながりづくりや担い手の確保などについて学ぶセミナー「ネットワークから広がる地区社協活動（発展編）」を開催しました。
- ・地区社協事務局長会議にて「担い手確保に向けた検討プロジェクト」を開催し担い手確保事例の共有を行いました。

4 港北区地域福祉保健計画の推進

第4期計画の4年目として、区計画における本会の取組を進めるとともに、区役所、地域ケアプラザと連携して、地域の方々とともに地区別計画の推進を図りました。また、第5期計画の策定に向けた取組を区役所、地域ケアプラザと連携して行いました。

- ・計画周知のため子育て世代に馴染みのあるプロレスラーを迎え、防災をテーマとした区民フォーラムを開催しました。
- ・障害者セーフティーネット分科会、港北区自立支援協議会と共同で障害啓発を目的とした映画会を開催しました。
- ・第5期計画策定に向けた検討部会を開催しました。

5 災害対策の充実

近年、広域に渡って発生している災害に備え対応体制の構築を進め、特に重要な役割となる災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営に向けて、区役所、港北区災害ボランティア連絡会と協力し災害ボランティアセンターの開設訓練及び運営シミュレーション訓練を実施しました。

6 事業推進に向けた組織運営の充実・基盤強化

事業の推進に向け、その基礎となる組織運営の充実・強化に取り組むとともに会員組織の拡充に努めました。

- ・正会員を対象とした会員セミナー（管理者・リーダーのためのメンタルヘルス研修会など）を開催しました。
- ・ボランティア分科会、在宅福祉分科会、障害者セーフティーネット分科会、保育所分科会において会員の連携、課題の共有・解決を図りました。
- ・コンプライアンスの推進とリスクマネジメントを職員間で徹底するとともに、事故発生時の基本的な対応の徹底を図りました。また、日常業務でのヒヤリハットの確認および事故の原因と改善策について共有を行いました。
- ・横浜市社協人材育成計画に沿った内部研修や外部の研修を活用し必要な知識・技術の研鑽に努め、職員の専門性を高めました。

I 福祉啓発

1 「港北ほくほくフェスタ」の開催

〈ひっと つながる－1、2 とどく－1〉

区内における地域福祉の発展に寄与することを目的として、福祉活動功労者の表彰式典を各種福祉保健活動団体の協力を得て開催しました。

(1)開催日・場所

10月31日 港北公会堂および区役所中庭

(2)内容

- ①第42回港北区社会福祉大会(社会福祉功労者表彰状並びに感謝状贈呈)
- ②本会分科会活動パネル展示
- ③ボランティアの広場(作業所製品の販売、バザー)
- ④「社会を明るくする運動」標語コンクール優秀作品の掲示 など

(3)参加者 約200名



社会福祉大会



社会福祉大会(うさぎのみみ♪による祝賀演奏)



ボランティアの広場



社会を明るくする運動

2 IT を活用した情報の発信

<ひっと とどく-1>

本会の事業や役割、地域や本会会員団体の活動について広く周知を図るとともに、必要な情報が必要な人へ届くよう、ホームページの充実に加え、動画配信や SNS を活用し情報を発信しました。

(1) ホームページ

- ①地区社協活動やボランティア募集、福祉保健活動拠点の予約状況、各種講座の情報を掲載
- ②地域福祉保健活動の情報(地区社協・地域ニュース)の発信
- ③問合せフォームや電子メールを使用した各種受付
- ④地区社協ページの充実(新羽地区社協ホームページの新設)
- ⑤会員専用ページの新設

本会ホームページ閲覧件数

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
閲覧件数	39,868	36,890	42,358	46,759	50,555

(2) インターネットの更なる活用

X(エックス)を活用し、ホームページ更新情報や講座・地域情報を発信しました。



本会ホームページ

<https://www.kouhoku-shakyo.jp/>

3 広報紙「ふくしのまど」の発行

<ひっと とどく-1>

地域の福祉活動・本会事業・地区社協の取組・ボランティアセンター情報などを定期的に発信していくため、地域新聞を活用し、広報紙「ふくしのまど」を発行しました。

(1) 「ふくしのまど」の発行(地域新聞を活用)

- ①7月 112号:福祉体験のご案内、善意銀行ご寄付のお礼
- ②11月 113号:社会福祉功労者の表彰特集、各種講座のご案内、他
- ③3月 114号:ボランティアセンター案内・ボランティア活動の紹介、他

発行部数:新聞折込 56,200部/1回 施設などへの配架 1,160部/1回

配布先:新聞折込・福祉保健活動拠点・地域ケアプラザ・地区センター・

区民活動支援センター、ホームページ掲載など

その他:新聞折込エリア外の地域は増刷し、本会から直接送付(440部/1回)

Ⅱ 個人の自立支援

1 困りごとのある人への支援

本会は「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作ります」という理念のもと、一人ひとりが抱える生きづらさや社会生活を営む上での困りごとの相談に対して、相談を受けとめ、必要に応じて関係機関や制度、サービスなどの紹介・調整を行いました。地域共生社会の実現に向けて、本会事業における新しい仕組みの検討や地域づくりのための活動支援を行います。

(1) 総合相談

重層的支援体制整備事業でもある「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を行いました。

(2) 各事業との連携

- ①事業における職員の気づきを話し合える場の確保(月2回)
- ②専門職としての力量を高めるための研修、学習の場の確保(外部・内部研修の活用)

(3) 地域活動の創出支援

地域ニーズを検討しながら、子ども食堂、地域食堂等の立ち上げ支援を行いました。

2 港北区社協あんしんセンター事業の実施

<ひっと とどく-1>

高齢者や障害者の自立生活を支援するため、日常生活自立支援事業の普及・啓発を行い、利用者に対するきめ細やかなサービス提供を行いました。また、よこはま成年後見推進センターや港北区成年後見サポートネットとの連携を強化し、市民後見人の支援や成年後見制度の周知を行うとともに権利擁護を推進しました。

(1) 利用対象

- ①概ね 65 歳以上の高齢者
- ②成年で障害のある方(身体・知的・精神)

(2) サービス内容

- ①総合相談
- ②金銭管理・定期訪問
- ③預金通帳など財産関係書類の預かり

(3) 関係機関との連携

- ①港北区成年後見サポートネット
専門職会議(年4回)、全体会(年3回)、市民後見サポートネット(年1回)
- ②港北区地域包括支援センター連絡会社会福祉士分科会への参画
- ③港北事業者連絡会「ガンバ港北」の役員

(4) 普及・啓発

- ①区役所・地域ケアプラザ・関係機関とともに、コスモス成年後見サポートセンター神奈川県支部横浜東地区行政書士との巡回無料相談会の開催(12月14日)
- ②民生委員・児童委員への制度周知(新任民生委員研修、地域ケア会議)
- ③地区社会福祉協議会への制度周知
地区社協懇談会にて、「あんしんセンター」の制度説明を実施(全13回)
- ④パンフレットや事例集を使用した関係機関へ制度の周知・広報

契約・相談件数

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
契約件数	86	72	58	54	51
うち新規	34	20	11	12	4

年度		令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
延活動数	初回相談	83	61	57	47	52
	継続相談・活動	5,231	4,191	4,134	4,411	4,587
	成年後見移行	1	4	2	0	0

3 障害児・者のための外出相談室

港北区移動情報センター「おでかけGO! 港北」の実施

<ひっと ひろがる-1、つながる-2、とどく-1>

障害児・者の移動を支援する窓口として、移動手段の相談・情報提供や地域への啓発、移動支援に関するボランティア人材の発掘・育成などを行いました。また、新入学の準備、学校生活、卒業後の備え、社会生活などのライフステージごとのニーズ把握と具体的な対応について必要な支援に取り組みました。

(1) 利用対象

障害児・者およびその家族、支援機関

(2) 移動に関する相談や情報提供(制度説明・福祉サービス事業所などの紹介)

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談件数	533	402	305	210	161

(3) 保護者、関係機関との連携

- ① 保護者座談会の開催(5月 24 日 参加者 20 名)
- ② 北綱島特別支援学校での UD 車両試乗会へ見学(7月 29 日 参加者5名)

(4) 支援者の発掘とフォローアップ

- ① ガイドボランティア座談会の開催(5月 16 日 参加者 20 名)
「支援で困っていること」「他のガイドボランティアに聞いてみたいこと」を中心に座談会を実施。

(5) 横浜市ガイドボランティア事業(※)の実施

- ① ガイドボランティア活動のコーディネート
- ② 奨励金の支払いなどの事業実施

ガイドボランティア登録者数・派遣件数

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録者数	73	58	51	44	45
派遣件数	1,812	1,551	2,116	576	1,235

※横浜市ガイドボランティア事業

障害のある方の外出付添いボランティアに対し、奨励金が支払われる横浜市の事業

(6) 事業の周知・広報

- ・ガイドボランティア事業紹介動画を使用した周知 <https://youtu.be/hPSFTeYHDMk>

- ※ ① 菊名ご近所文化祭にて啓発動画の上映(11月 30 日 参加者 計 18 名)
- ② 障害者セーフティネット分科会にて事業紹介

(7) 推進会議の開催

回	開催日	内容
1	9月 11 日 13 名	令和 5 年度 事業報告 令和 6 年度 第 1 四半期事業報告 令和 6 年度 事業計画 情報交換
2	2月 25 日 10 名	令和 6 年度 第 2 四半期～第 3 四半期の相談傾向について 令和 7 年度 事業計画 情報交換

4 子育て応援情報サイト、情報地図「ココマップ」による情報提供

<ひっと とどく-1>

区内の子育て世代支援を目的とし、認定 NPO 法人びーのびーのと協働してホームページや子育て応援マップ(紙版)を通じて子育て情報を発信しました。

ホームページについては、子育てに関する必要な情報が簡単に入手できるよう更新していくとともに、編集メンバーによる特集やブログ形式などで役に立つ情報を発信していきました。

子育て応援マップ(紙版)については、住民からの情報をもとに、より利便性が高く、子育てに役立つ情報を掲載した改訂版を作成しました。

(1) スマートフォンやタブレットにも最適化したホームページ「Web 版ココマップ」

による、タイムリーな情報提供



Web 版ココマップ

<https://www.kouhokushakyo.or.jp/>

ホームページ閲覧件数

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
閲覧件数	204,042	160,872	135,284	153,479(※)	257,722

※令和3年度より、閲覧件数のカウント方法を変更しました

(2) 子育て応援マップ(紙版)の周知及び配布

7,500 部発行

区役所、地域ケアプラザ、地区センター、コミュニティセンター、コミュニティスクール、港北区地域子育て支援拠点 だろっぶ・だろっぶサテライト、親と子のつどいの広場、港北図書館等 配架

(3) 編集委員会の開催(年 11 回)

5 生活福祉資金貸付事業の実施

<ひっと とどく-1>

低所得者世帯、障害者や日常生活上療養または介護を必要とする高齢者のいる世帯へ、生活福祉資金の貸付と貸付世帯への継続的な相談を行うことによって、その世帯の生活の安定と経済的自立に向けた支援を行いました。

また、特例貸付(※)は、償還猶予や免除の相談対応を継続しました。区役所等の関係機関と連携しながら支援を続けています。

※特例貸付:新型コロナウイルス特例措置の緊急小口資金、総合支援資金(初回、延長、再貸付)

(1) 通常の貸付・相談状況

相談・問合せ件数

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談件数	2,008	1,521	1,177	565	1,020

新規貸付件数

年 度		令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
生活福祉 資金	福祉資金	2	6	2	3	1
	教育支援資金	23	12	12	30	20
総合支援資金		0	1	0	0	0
つなぎ資金		0	0	0	0	0
不動産担保型生活資金		0	0	0	0	0
緊急小口資金		2	6	1	0	0
合 計		27	25	15	33	21

(2) 特例貸付

相談・問合せ件数

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談件数	609	363	1,796	9,484	12,532

※特例貸付の申請受付は令和2年3月 25 日から始まり、令和3年 12 月 31 日をもって終了しました。以降は償還についての相談や問い合わせの対応を行いました。

(3) 関係機関との連携

区役所(生活支援課)とのミーティングを1回開催(令和7年1月7日)。
随時連絡・調整を行いました。

(4) 担当職員の資質向上

- ① 県社協の実施する研修に出席(6回)
- ② 内部ミーティングを実施(月1回)

6 各種ネットワークへ参画

地域福祉に関する様々な支援機関、団体のネットワークに参画し、協働しながら専門機関としての支援体制を構築しました。本会の視点を活かし、個別の支援課題から地域の支援課題の抽出へつながるように努めました。

(1) 各種連絡会、ネットワーク会議

- ① 港北区地域作業所連絡会
- ② 港北事業者連絡会「ガンバ港北」
- ③ 港北区地域包括支援センター連絡会 社会福祉士分科会
- ④ 港北区高齢者虐待防止連絡会
- ⑤ 港北区キャラバンメイトのつどい
- ⑥ 幼保小連携会議
- ⑦ 地域ケア会議(区レベル)
- ⑧ 港北区子ども若者支援団体交流会

(2) 港北区地域自立支援協議会

事務局として自立支援協議会に参画し、区内の障害者支援施設との連携を図るとともに、地域における障害者等への支援体制に関する課題について把握しました。

Ⅲ 地域の福祉力の向上

1 地区社会福祉協議会への支援【重点】

<ひっと つながる-1>

住民に一番身近な社協である地区社協の活性化と住民への理解促進、住民に信頼される地区社協運営の支援を行いました。また、地域活動を支援するための食品寄付の仕組みの運用や、ネットワークによって広がる地域のつながりづくり等をテーマとしたセミナーを開催しました。

(1) 区域での検討・共有の場・機会の設定

①会長・事務局長合同会議(地区社会福祉協議会分科会)(年4回)

②事務局長会議(年3回)

課題となっていた担い手不足について、「担い手確保に向けた検討プロジェクト」として検討を行いました。

③情報交換会(会長・事務局長合同開催 年1回)

「担い手確保に向けた検討プロジェクト」で検討を重ねる中で、特徴のある取組をしている地区の事例を共有し、今後の検討に向けた意見交換を行いました。

④会長・事務局長あて定期通信(本会の取組や地域情報など)の発行(年12回)【再掲】

(2) 各地区の取組状況の確認や課題共有・検討

①随時 各地区の会議・事業などへの参画

②地区社協役員と本会事務局との懇談会(13地区にて実施/1月16日~3月3日)

③地区社協状況書の作成と活用

④SNSを活用した食品配分の仕組み「こうほく たべまる」運用

対象 12団体

配信回数 6回(124パッケージを配分)

(3) 地区社協活動に関する広報・啓発

①地区社協ホームページ

区社協ホームページ内に設けている地区社協ページを活用し、地域からの情報発信を支援(希望する地区社協)

新羽地区のホームページを新設(再掲)

(4) 研修の実施

①新任地区社協役員を対象とした研修(6月6日 参加者8名)

②地区社協セミナー「ネットワークから広がる地区社協活動(発展編)」(12月6日 参加者23名)



地区社協セミナー
「ネットワークから広がる地区社協活動
(発展編)」

■地区社協会長・事務局長合同会議 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	4月18日 ①合同会議 会長12名 事務局長11名 ②事務局長会議 事務局長11名	1 地区社協活動費(市社協補助金)について 2 ひっとプラン港北地区別計画推進にかかる事務費の助成について 3 地区社協状況書について 4 賛助会員 会員募集にかかる運動について 5 令和6年度 地区社協事業助成金について 6 令和6年度 区社協における地区社協支援の取組について 7 第4期港北区地域福祉保健計画地区ニュースについて 8 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 地区社会福祉協議会 総会開催状況について ・地区社協新任研修について ・令和6年度 区社協事業計画について ・港北区社会福祉協議会 事務分掌 ・港北区社協令和6年4月のお知らせ ②事務局長会議では今年度「担い手確保に向けた検討プロジェクト」として検討していくことについて意見交換
2	6月20日 ①合同会議 会長10名 事務局長11名 ②事務局長会議 事務局長11名	1 港北区社会福祉協議会 理事及び評議員候補者の選出について 2 港北区社会福祉大会顕彰候補者の推薦について 3 令和6年度 港北区社会福祉協議会 正会費の納入について 4 令和6年度 地区社協事業助成金(賛助会費)の交付について 5 「港北区年末たすけあい募金配分要綱」の改正案について 6 令和6年度 地区社協新任研修について 7 令和6年度 総会開催状況について 8 各地区の取組方針について 9 港北区社会福祉協議会 令和5年度事業報告・決算概要 10 第5期横浜市地域福祉保健計画について 11 その他 ②事務局長会議では、「担い手確保に向けた検討プロジェクト」及び事務局運営について意見交換

3	11月7日 合同会議 会長10名 事務局長9名	<ol style="list-style-type: none"> 1 地区社協事業助成金(第2期)交付について 2 地区社協役員と区社協事務局との懇談会について 3 来年度の区社協における地区社協活動支援について 4 令和6年度地区社協セミナーについて 5 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・「ひっとプラン港北」地区計画ニュース等の作成について ・「担い手確保に向けた検討プロジェクト」中間報告 ・地区社協活動費について ・「ふくしのまど」秋号について ・港北区社協令和6年11月のお知らせ
4	2月13日 事務局長会議 会長2名 事務局長12名	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和7年度 港北区社協賛助会員運動について 2 「担い手確保に向けた検討プロジェクト」について 3 【報告事項】 令和6年度 年末たすけあい募金実績額・配分額一覧
5	3月13日 合同会議 会長11名 事務局長10名	<ol style="list-style-type: none"> 1 地区社協役員と区社協事務局との懇談会結果について 2 地区社協セミナーについて(ご報告) 3 令和6年度 地区社協事業助成金の交付について 4 年末たすけあい配分並びに募金結果について 5 令和7年度 地区社会福祉協議会総会日程について 6 「担い手確保に向けた検討プロジェクト」について 7 区社協ホームページ上での情報共有について 8 「よこはまの地区社協活動」について 9 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度 地区社協関係会議日程 ・港北区社会福祉協議会令和7年3月のお知らせ

■担い手確保に向けた検討プロジェクト

回	開催日	主な内容
1	7月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の課題共有 ・意見交換
2	8月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・前回振り返り ・各地区の事務局構成について共有 ・意見交換
3	9月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの振り返り ・地区社協情報交換会として事例共有 ・今後の検討に向けた意見交換

4	11月26日	・前回振り返り ・まとめに向けた意見交換
5	2月13日	・これまでの振り返り ・まとめについて意見交換

■地区社協新任研修 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	6月6日 8名	1 社会福祉協議会(社協)とは 2 地区社協とは 3 港北区社協とは 4 港北区社協と各地区社協の協働 5 組織運営と予算管理

■地区社協情報交換会 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	9月19日 22名	1 情報交換 ・「担い手確保に向けた検討プロジェクト」事例共有 ・意見交換 2 その他

■地区社協セミナー ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日	主な内容
1	12月6日 23名	「ネットワークから広がる地区社協活動(発展編)」 講師:渡辺裕一氏(武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 教授) ・グループワーク ① 組織の課題を組織との関係で捉える。 ② どうすれば人を動かすことができるかを考える。 ③ 誘い方のロールプレイ

2 港北区地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」の推進【重点】

<ひっとプラン>

「ひっとプラン港北」は「誰もが自分らしく安心して暮らせるまち」を目指し、住民と関係団体、行政などが連携して地域の福祉保健の課題解決に取り組み、助けあいや支えあいのある地域づくりを進めるための計画です。令和6年度は、第4期計画(5か年計画)の4年目として、区計画、地区計画について区役所と地域ケアプラザとともに計画の推進を図りました。

また、令和8年度からの第5期計画の策定に向けてアンケートの実施や検討部会を開催しました。

(1) 令和6年度の取組

- ①第4期区計画および地区計画の推進
- ②第5期「ひとつプラン港北」策定に向けた地域活動団体等へのアンケート調査を実施

	団体種別	回答数
1	子ども分野団体	25
2	当事者・支援者団体	45
3	公立小・中学校、保育園	9

③第5期「ひとつプラン港北」策定に向けた検討部会を実施

	テーマ	開催日
1	子ども分野	10月6日
2	障害分野	10月24日
3	高齢分野	11月25日
4	分野横断テーマ(生活困窮・防災)	12月4日

(2) 推進体制と推進の取組

	推進体制	推進の取組
区計画	①「ひとつプラン港北」策定・推進会議の開催(7月10日、2月5日) ②「ひとつプラン港北」事務局会議の開催(月2回程度)	①区域の計画推進
地区計画	①地区計画サポートスタッフ会議への参画(随時) ②地区推進会議への参加(随時)	①地区計画推進・策定費の助成 ②地区計画各種事業、取組などへの参加協力

(3) 広報啓発活動

- ①地区計画ニュースの発行
令和6年度地区計画ニュースを発行しました。
- ②区民フォーラムの開催
令和6年度防災講演会・区民フォーラム「災害に自分で備え、地域で助け合うこと」を開催しました。
2月8日(土) 参加者 289名 港北公会堂
講師:プロレスラー 蝶野 正洋氏
- ③ホームページやSNSなどを活用した周知



3 地域ケアプラザとの一体的な地域支援【重点】

＜ひっと つながる－１、とどく－１＞

本会の目指す「身近な地域のつながり・支えあい」を推進するため、地域ケアプラザと連携した地域支援を行いました。本会の持つ区域のネットワークや強みを活かし、一人ひとりの生きづらさや困りごとに対して必要な支援を行うための方針の検討や地域アセスメントを共有することで、地域のニーズ把握を行い具体的な地域活動について検討しました。

(1) 推進体制

- ①地域ケアプラザ定例カンファレンスへの参加(92回)
- ②地域ケア会議や協議体などへの参加・協力(6回)

(2) 地域ケアプラザとの連携

- ①地域活動・交流コーディネーター連絡会の定例開催(月1回)
- ②2層生活支援コーディネーターとの協働および活動支援
- ③日常的な活動支援および協力

(3) コミュニティソーシャルワーカーとしての資質向上

- ①地区別・業務別課題の検証と対応についての業務ミーティングの実施
- ②外部研修、会議への参加

4 生活支援体制整備事業の推進

＜ひっと ひろがる－１、とどく－１＞

高齢者がいつまでも住み慣れたまちで元気に暮らせるよう、生活上の困りごとやその解決に向けた方策について、住民や事業者など様々な方と検討します。また、身近な地域での助けあいの仕組みづくりや支える人・団体の支援に努めました。

健康づくりや介護予防などに効果的な「通いの場等」への支援においては、地域の状況や取組経過、関わる地域住民などの思いをふまえサポートを行いました。

事業推進のため本会に配置されている1層生活支援コーディネーターは、地域ケアプラザの2層生活支援コーディネーターと協力・連携しながら、取組を進めました。

(1) 課題解決に向けた取組・推進体制

- ①横浜市生活支援体制整備事業推進会議への参加(月1回)
- ②事務局会議(月1回)
- ③様々な主体との協議の場の設定と連携促進

(2) 2層生活支援コーディネーターとの協働および活動支援【再掲】

①港北区2層生活支援コーディネーター連絡会の開催(月 1 回)

各圏域での取組共有・検討、連絡会を主体とした取組(事業)の検討、関係会議報告、情報提供ほか

②連絡会を主体とした取組(事業)の支援

○講座『『知る活』から『やる活』へ』

ボランティア活動に関心がある方に向けて、活動を始めるためのきっかけ作りを支援しました。

9月 27 日(金) 参加者 24 名 会場:港北公会堂



○「おすすめ活動ガイド 第5版」作成

○スキルアップのための取組:各地域ケアプラザ「連携に関する事例」冊子作成

③各地域ケアプラザ圏域での取組支援・日常的な活動支援および協力

④Ayamu(地域活動・サービスデータベース)の Web 版および冊子「きょういく・きょうようガイド」作成支援

(3) 新たな社会資源や人材発掘に関する取組・支援

①介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)の活動支援・相談対応

・継続活動団体への支援(9団体)

②地域活動などの担い手発掘のための取組

・講座『『知る活』から『やる活』へ』実施【再掲】

・北部4区(港北・緑・青葉・都筑)サービスB活動団体情報交換会の開催

(1月 31 日 参加者 31 名)

③様々な「通いの場」づくり・運営の支援

・子ども食堂・地域食堂連絡会

(11月 29 日 参加者 35 名)

新規立ち上げ相談、継続のための運営支援(相談対応)等



(4) 広報・啓発

ホームページや SNS を活用した地域活動などの周知

5 地域の中の居場所支援事業

<ひっと ひろがる-1、つながる-1、2、3、とどく-1>

世代を問わず誰もが参加できる交流の場・機会を増やすため、地域の実情にあわせた居場所の立ち上げや活動を継続するための支援を行いました。

(1) みんなの居場所支援事業

①運営支援

(2) こどもの居場所支援事業

①こどもの居場所などの区内活動状況調査(2回)

②「子ども若者支援団体交流会」への支援

③相談対応など



(3) その他、通いの場等への支援

①地域からの相談対応および立ち上げ支援

②小規模集いの場

③検討・協議の場への参画

④地域向け講座・研修などへの協力

⑤ホームページや SNS を活用した活動などの周知



6 港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金による活動支援

<ひっと ひろがる-2>

「港北区ふれあい助成金」「港北区みんなの助成金」を通じ、区内のボランティアグループ・当事者活動・介護予防活動などへの支援を行いました。また、新たな地域課題に対応するための区分(小規模集いの場活動)を新設しました。

助成規模 18,152,000 円

助成団体 200 団体 ※別紙「配分団体一覧表」(3月末時点)

港北区ふれあい助成金・みんなの助成金審査会

開催日	主な内容
6月24日 委員3名	1 令和5年度 港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金報告 2 令和6年度 港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金について 3 令和6年度 助成金の審査について 4 小規模集いの場活動区分について 5 その他
2月26日 委員5名	1 令和6年度配分実績及び令和7年度配分予定(案)について 2 令和7年度助成金実施要綱(案)について 3 令和7年度助成金実施要領(案)について 4 その他

7 福祉保健活動拠点の運営

<ひっと ひろがる-1>

福祉保健活動を行う団体等に会議や研修・事業実施の場の提供を通じて、地域活動の支援を行うとともに、地域ニーズの把握に努め、住民や関係機関とともに課題解決に向けて取り組みました。また、区民利用施設の指定管理者として、より公平・公正なサービスの提供と利用者ニーズに即した運営、施設間のネットワークづくりに努めました。

(1) 場の提供を通じた関係性の構築・活動支援

館内に設置している配架用ラックを活用して、登録団体の活動紹介、各種イベントの周知を行いました。また、利用調整会議(年2回)を開催し、団体間の交流の場を提供、アンケートを実施し、登録団体との情報交換を行いました。

(2) ホームページや SNS などを活用した利用促進

毎月、拠点貸室の空き状況を本会 HP、X で公開しました。
公開した情報を活用し、館内事務所、貸室内に空き状況を掲載しました。

(3) サービス向上の取組

窓口満足度調査を実施、利用団体からのニーズ把握に努めました。(回答数:90名)

(4) 利用調整会議の開催

年2回(10月、3月)開催。防災の観点から「シチュエーション別の避難方法について」の講座、団体間の交流会を実施しました。また、拠点利用について意見交換を行いました。



(5) ボランティア業務

ニーズに沿ったボランティアコーディネートを実施しました。(35 件)

(6) 関係機関および地域との連携

施設間連携会議(12 月)へ参加し区内関連施設や行政施設との連携、情報交換を行いました。

(7) 拠点登録団体・利用件数

登録団体:125 団体、稼働率:48.1%

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用件数	2,515	2,380	2,131	1,740	1,503

8 「食」を通じた地域活動および暮らしの支援

<ひっと ひろがる-1、つながる-1、とどく-1>

食品ロスの軽減や助けあいの気持ちで個人・団体・企業などから本会に寄せられた寄付品(食品)を有効に活用し、必要な取組・人に届けるための仕組みづくりを進めました。なお、相談が増加傾向にあることから、寄せられた寄付物品の他、善意銀行や年末たすけあい募金の財源を活用した取組も行いました。

(1) 受入れた寄付品(食品)の適正な管理

(2) 地域活動の支援

「こうほく たべまる(SNS を利用した配分の仕組み)」継続による地区社協と地域活動、本会との連携(再掲)

(3) 個人の暮らしの支援

生活福祉資金貸付事業など本会相談者への貸付資金が交付されるまでのつなぎや、貸付事業で対応できない生活困窮者を関係機関と連携しながら相談対応していくための支援方法の一つとして食支援を実施しました。実施にあたり、区役所や地域ケアプラザなどの支援機関、民生委員

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
実施件数	120	176	102	96	85

児童委員や主任児童委員などの支援者、また本会会員との連携により相談者へお渡ししました。

IV ボランティア活動の推進

1 港北区ボランティアセンターの運営

<ひっと ひろがる-1>

個人や団体を対象にボランティアに関する相談対応や情報提供、活動先の紹介などを行いました。また、ボランティアコーディネーション(※)の視点から、ボランティアをしたい個人・団体と、ボランティアを求めている個人・団体からの多様な相談を受け止め、活動などをコーディネートしました。また、福祉に対する意識啓発を行い、区域での福祉力向上に努めました。

「港北区ボランティアセンター」の西部方面ランチとして運営している「やすらぎの家」との連携を図り、ボランティア活動の推進に取り組みました。

(1) ボランティアセンター運営委員会の開催(3月7日)

令和6年度事業報告と令和7年度事業計画の説明、善意銀行の配分について審議しました。

	開催日	内容	結果
1	3月7日	1. 令和6年度 事業報告および令和7年度 事業計画 2. 善意銀行の配分について ・令和7年度善意銀行配分予算書(案)の検討 ・ボランティアセンター事業、みんなの助成金配分事業の予算(案)の検討 3. 意見交換 「ボランティアセンターの運営について」 「ボランティアの発掘について」	承認

(2) 西部方面ボランティアセンター「やすらぎの家」の運営

区ボランティアセンターのランチとして、主に区西部方面を中心としたボランティアセンターの運営を行いました。

- ①主に西部方面を中心としたボランティアコーディネート(月・水・金)
- ②みんなの居場所としての開館(月・水・金)
- ③「やすらぎの家」運営会議の開催(年6回)
- ④小学生・中学生に向けた福祉講座・体験の実施(7月23日、24日 参加者23名)
- ⑤コーディネーター勉強会の開催(2月18日)

(3) 各種ボランティア保険の取扱

ボランティア個人や団体が安心安全にボランティア活動を行えるように、ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険などの取扱いを行いました。

ボランティア活動保険:190件 ボランティア行事用保険:426件 福祉サービス総合補償:22件

(4) ボランティア入門・育成講座の企画・実施

ハイドロカルチャー講座

「ハイドロカルチャーをやってみよう！」日常の癒しに！活動時の話題に！

開催日：2月 21 日(金) 参加者 15 名

場所：港北区福祉保健活動拠点 多目的研修室

内容：ボランティア同士の交流とボランティア・市民活動分科会で開催する講座のアイデアを集めることを目的にハイドロカルチャー講座を開催しました。

講座の後半の参加者同士の交流では、今後の講座についてのさまざまなアイデアが集まりました。



(4) ボランティア団体等との連携

①港北区ボランティア連絡会定例会への参加(年 11 回)

定例会の参加および、ボランティアの広場、ボランティアの集いの開催に協力しました。

②各地区ボランティア連絡会定例会への参加

(日吉地区ボランティア連絡会、城郷地区ボランティア連絡会)

③地域のボランティア団体との連携

(港北録音グループ、綱島東ボランティア、綱島西ボランティアグループ)

④移動情報センターガイドボランティア事業と連携し、センターに寄せられる送迎に関する相談についてコーディネートの共有を行い、ボランティアを調整しました。

(5) 広報・情報提供

①「ふくしのまど」の発行【再掲】

ボランティア情報や地域福祉に関する情報、活動などについて発信

②ホームページや SNS を通じたボランティア情報の発信

本会ホームページや SNS を通じてボランティア情報を届けました。

③ボランティアニーズ情報紙の発行(年5回)

区社協ホームページでの発信、窓口での配架を行いました。

(6) ボランティアコーディネーター力の向上

①ボランティアコーディネーター定例会(事例検討 月1回)

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
紹介件数	35	29	18	20	7
コーディネーター率	68%	57%	56%	62%	64%
登録人数(個人)	380(33)	347(34)	308(35)	273(39)	619(9)
登録グループ数	72(6)	68(7)	64(1)	63(2)	88(1)

※ボランティアコーディネーション

ボランティア活動の意義を認め、その活動のプロセスで多様な人や組織が相互に対等な関係でつながり、新たな力を生み出せるように調整し、一人ひとりが市民社会づくりに参加することを可能にする働きかけ。

2 港北区災害ボランティア連絡会の運営

<ひっと とどく-2>

港北区災害ボランティア連絡会事務局として、災害ボランティア活動の普及・啓発に協力し、連絡会会員が地域防災拠点運営に携わる上での共通理解を深めました。また、区役所やとの連携強化・情報共有を進めました。

(1) 災害ボランティア連絡会

総会(5月15日)

役員会(年12回)

定例会(年10回)

(2) 災害ボランティアセンターシミュレーション訓練

12月7日 参加者23名

本会職員と災害ボランティア連絡会会員の合同訓練を実施。(災害情報システムを用いた当日受付・マッチング・送り出し・活動報告の訓練)



(3) 災害や防災に関するセミナーの開催

①6月15日 (参加者 会場25名、オンライン9団体)

「珠洲の現実～地震で止まった時間とボランティアの受け入れの現況～」

講師:伊藤 郁夫 氏(日本ボーイスカウト神奈川連盟常任理事 横浜第79団ローバー隊長)

②2月16日 (参加者 会場34名、オンライン10団体)

「避難所と在宅避難の支援について」

講師:新井田 竜平 氏(は港北区役所総務部総務課 危機管理・地域防災担当係長)

(4) 災害ボランティア連絡会ニュースの発送(年 12 回)

〈発送先〉 ※港北区災害ボランティア連絡会会員を除く

- ・各地域ケアプラザ、地区センター、港北警察署、区内小学校2校など 24 か所×各 10 部
- ・区内7町内会、港北消防署、地域防災拠点運営委員など 21 か所×各1部
- ・その他(災害ボランティア連絡会会員による配布活動) 月平均 500 部

3 福祉教育・福祉啓発の推進

<ひっと ひろがる-2>

福祉意識の醸成、次世代育成を目的に学校や地域、企業からの依頼により福祉教育・福祉啓発を行いました。

(1) 福祉教育・福祉啓発相談調整

体験学習や講座に関する相談に対応し、企画や協力者紹介などを行いました。依頼者のニーズに柔軟に応えるとともに、本会の福祉教育の取組みを周知しました。

対応件数 28 件

(2) 機材の貸出・提供

福祉体験で使用する機材(車いすや高齢者疑似体験セットなど)を貸出しました。

機材貸出件数 23 件



(3) 「夏の福祉体験」～ふだんのくらしのしあわせ体験～

福祉とは何かを学び、子どもの成長の糧となるよう、地域福祉活動団体とともに講座を開催しました。活動者の想いや活動内容を見聞きすることで、子どもたち自身が「福祉」について考える機会を設けました。



令和6年度 福祉教育対応一覧

No	地区	学校・団体名	対象	人数	実施内容	協力者	実施日
1	日吉	下田 小学校	5～6年生	30	人権研修～ポッチャ体験を通して～	下田地区スポーツ推進委員、区社協	10月8日
2		駒林 小学校	1～2年生 3クラス	160	人権研修～ポッチャ体験を通して～	民生委員児童委員・主任児童委員、 横浜市スポーツ協会	12月5日
3			3～4年生 3クラス	190	人権研修～視覚障害当事者との交流を通して～	視覚障害当事者	12月12日
4			5～6年生	180	人権研修～地域の人との交流を通して～	青少年指導員	12月6日
5	網島	北網島 小学校	2年生 3クラス	98	防災の一環として要援護者への対応・接し方等を学ぶ	こことも	9月21日
6			5年生 3クラス	94	防災の一環として高齢者体験をし、地域に暮らす高齢者との接し方や自分にできることを考える	区社協(プログラム担当)	9月21日
7		網島 小学校	2年生 4クラス	110	防災の一環として要援護者への対応・接し方等を学ぶ	こことも	11月16日
8			4年生 3クラス	98	防災の一環として高齢者体験をし、地域に暮らす高齢者との接し方や自分にできることを考える	区社協(プログラム担当)	11月16日
9			1～6年生 全校生徒	545	①1～2年 人権研修～ベタンク体験を通して～ ②3～4年 視覚障害理解(盲導犬) ③5～6年 人権研修～車いすバスケット体験を通して～	※①～③区社協(講師紹介)	12月
10	大曽根	大曽根 小学校	4年生 5クラス	156	視覚障害理解・点字体験	視覚障害当事者、 区社協(プログラム担当)	2月3日
11			4年生 1クラス	31	高齢者とのかかわり	オレンジの会	2月20日
12	師岡	師岡 小学校	3年生 6クラス	222	聴覚障害理解や手話を学ぶ	聴覚障害当事者、手話サークル梅の会	10月28日
13			4年生 6クラス	204	視覚障害理解や誘導の方法について学ぶ	視覚障害当事者(盲導犬ユーザー)	10月16日
14			5年生 6クラス	224	高齢者理解	地区連合会長、地区社協会長、地区民児協会長	11月12日
15			6年生 6クラス	203	認知症について学び理解を深める	キャラバンメイト、樽町地域ケアプラザ	11月19日
16	大倉山	太尾 小学校	4年生 4クラス	115	視覚障害理解や誘導の方法について学ぶ	視覚障害当事者(盲導犬ユーザー)	11月29日
17			5年生 4クラス	115	発達障害やその特徴や思いについて理解を深める	※講師調整 特別支援教育コーディネーター	12月9日
18			6年生 3クラス	118	障害理解	身体障害当事者(義足)	12月5日
19		大綱 小学校	2年生 4クラス	138	聴覚障害理解や手話を学ぶ	聴覚障害当事者、手話サークル梅の会	11月15日
20	篠原	篠原 小学校	5年生 1クラス	29	高齢者体験	篠原地域ケアプラザ、区社協	2月6日
21		篠原 中学校	3年生 6クラス	214	高齢者理解研修	区社協(プログラム担当)	2月27日 ①～③回
22	新羽	新羽 小学校	キッズ	30	要援護者への対応・接し方等を学ぶ	こことも	7月31日
23	新吉田	新吉田 小学校	4年生 2クラス	60	視覚障害理解	視覚障害当事者	1月28日
24	区内	やすらぎの家	小学3年生～ 中学3年生	①12 ②10	①車いす・アイマスク体験&ホットケーキづくり ②手話講座	①視覚障害当事者、新田地区センター、 やすらぎの家、区社協 ②聴覚障害当事者、新田地区センター、 やすらぎの家、区社協	①7月23日 ②7月24日
25	区内	横浜労災 看護専門学校	1年生	75	「地域を支える専門職」について	大豆戸地域ケアプラザ、区社協(プログラム担当)	9月13日
26			2年生	-	フィールドワーク	※フィールドワーク先紹介	11月
27	区内	夏のふくし体験	小学5年生～ 高校生	6	～ふだんのくらしのしあわせ体験～	①文の友(手紙・絵手紙ボランティア) ②ホットカフェ小机 ③高田コミュニティカフェゆずの樹	①7月29日 ②8月21日 ③8月31日
28	企業	株式会社 ASFON TRUST NETWORK	新採用社員	2	高齢者理解研修	大豆戸地域ケアプラザ、 区社協(プログラム担当)	4月17日

4 寄付文化の醸成に向けた取組み

〈ひっと ひろがる-1、つながる-1〉

多くの寄付金をいただくとともに、預託品として衣類(大人用、子ども用、乳児用)やおむつ、お米などをお預かりし、必要な方へお渡ししました。また、寄付者と地域の活動団体をつなぎ、資金や物品の提供だけでなく顔の見える関係づくりに努めました。

(※令和7年3月31日時点)

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
寄付金件数	41	33	35	32	29
預託品件数	25	20	24	23	25
寄付金総額(円)	1,201,098	2,884,933	1,132,406	1,248,386	6,754,571

たくさんのご寄付をありがとうございました



グロースサポート社労士事務所



横浜ひかりライオンズクラブ



横浜労働者福祉協議会北部支部

必要としている方々へお渡しいたしました



ガクセイ食堂



樽町なごみ食堂



もぐもぐキッチンしんよしだ

令和6年度善意銀行 預託金品状況

【金銭】

	預託日	寄付者	内容
1	4月2日	港北3R夢サポーター	46,214
2	4月6日	横浜市港北区仏教会	50,000
3	4月21日	匿名個人	5,000
4	4月24日	港北芸能協会	20,000
5	5月20日	匿名個人	5,000
6	6月12日	匿名希望	5,000
7	6月14日	匿名希望	59,038
8	6月14日	新都山流神奈川県支部	22,000
9	6月20日	匿名個人	5,000
10	6月24日	横浜港北ロータリークラブ	200,000
11	7月12日	イトーヨーカドー労働組合綱島支部	4,500
12	7月13日	港北三曲会	30,000
13	7月19日	匿名個人	5,000
14	7月19日	ユニー(株)“小さな善意で大きな愛の輪”運動アピタ横浜綱島店	90,334
15	8月21日	匿名個人	5,000
16	9月6日	港北三曲会	50,000
17	9月11日	フラ港北レフア	10,000
18	9月20日	匿名個人	5,000
19	10月21日	匿名個人	5,000
20	10月22日	港北邦楽協会	20,197
21	11月5日	港北芸能協会	18,620
22	11月14日	PCばれっと	11,000
23	11月18日	匿名個人	100,000
24	11月20日	匿名個人	5,000
25	12月3日	老人福祉センター 横浜市菊名寿楽荘	33,020
26	12月10日	匿名個人	10,000
27	12月20日	匿名個人	5,000
28	12月24日	リーダー電子株式会社	100,000
29	12月25日	匿名団体	1,800
30	12月25日	大平 真希	34,100
31	1月9日	横浜労働者福祉協議会北部支部	50,000
32	1月20日	匿名個人	5,000
33	1月20日	匿名個人	5,000

令和6年度善意銀行 預託金品状況

34	1月28日	齊藤 まみ	5,000
35	1月30日	匿名個人	40,000
36	2月6日	匿名団体	690
37	2月21日	匿名個人	5,000
38	3月10日	中沢 文明	50,000
39	3月13日	港北区ダンススポーツ連盟	30,000
40	3月24日	匿名個人	5,000
41	3月31日	株式会社横浜アリーナ	44,585
		合計	1,201,098

令和6年度善意銀行 預託金品状況

【物品】

	預託日	寄付者	内容
1	4月23日	匿名個人	粉ミルク、子供服
2	4月24日	高橋 真理子	紙おむつ、吸水パッド
3	5月1日	匿名団体	衣類(肌着、下着)
4	5月9日	匿名個人	浴室(手すり)
5	5月17日	匿名個人	子供服
6	5月22日	匿名個人	大人用紙おむつ
7	5月23日	匿名個人	大人用紙おむつ
8	6月4日	横浜ひかりライオンズクラブ	お米
9	6月12日	匿名個人	衣類(Tシャツ)
10	6月26日	堤 みち代	衣類(Tシャツ)
11	7月30日	匿名個人	衣類
12	7月30日	匿名個人	紙おむつ(大人用)
13	9月26日	匿名個人	衣類(トレーナー)
14	10月10日	匿名個人	碁石、碁盤
15	10月16日	伊藤 敏紀	お米
16	12月24日	匿名個人	お米
17	12月24日	匿名個人	おむつ・パット
18	12月25日	金子 清隆	おかし
19	1月23日	グロースサポート社労士事務所	カレンダー(卓上、壁掛け)
20	1月31日	匿名個人	からだ拭き
21	2月4日	匿名個人	カイロ
22	2月13日	匿名個人	手提げバック、ランチョンマット等
23	2月21日	匿名個人	子ども用靴
24	3月3日	匿名個人	ノート、生理用品
25	3月14日	金子 清隆	おかし、カレンダー

V 信頼される組織運営

1 組織体制の整備【強化】

<ひっと ひろがる—1>

本会は会員組織として、地域福祉の活動に携わっている様々な団体や機関(地区社協、自治会町内会、民生委員児童委員、ボランティア団体、福祉施設、行政機関など)が正会員として入会し、知恵と力と資金を出し合って福祉のまちづくりを推進しました。

(1) 会員組織の拡充

会員数

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
会員数	227	224	228	235	245
(新規)	(4)	(0)	(1)	(0)	(0)

会員内訳

正会員種別		団体数
第1種	公私社会福祉事業施設及び団体	58
第2種	民生委員・児童委員 ※民生委員・児童委員は個人会員として加入	23
第3種	地区社会福祉協議会	13
第4種	地区連合自治会町内会	13
第5種	当事者団体	37
第6種	ボランティア団体	38
第7種	その他社会福祉に関係ある団体 ※港北保護司会は個人会員として加入	31
第8種	社会福祉関係行政機関	12
第9種	学識経験者	2

(2) 会員セミナーの開催

正会員等を対象とした地域福祉活動に有効な講座の開催

開催日	内容	参加者
7月11日	若宮正子さん講演会 「人生に『もう遅い』はない」	230名
11月1日	自転車安全講習会 講師: 港北警察署 交通総務係 三宅氏 森田氏 ・自転車走行に関する基本的な交通ルール、注意すべきポイント ・港北区内における自転車事故の傾向・場所など	19名

11月28日	管理者・リーダーのためのメンタルヘルス研修 ※ウイリング横浜と共催 講師 フェリアン 所長 桑田 道子	29名 (うち本会会員9名)
--------	--	---------------------------------

令和6年度 横浜市港北区社会福祉協議会 講演会 聴取費 無料



いまの自分がやりたいことをやるのが一番いいんじゃない
 わかみや まさこ
若宮正子さん
 講演会

NPOブロードバンドスクール協会 理事
 一般社団法人メロウ倶楽部 理事
 横浜小中学校 教員 (一般社団法人海中学園)
 公益社団法人 NEXT VISION 理事

【講師紹介】
 昭和10年生まれ、今年89歳。高校卒業後、銀行に定年まで勤務。58歳からパソコンを独学で習得し、81歳でゲームアプリ「hinadan」を公開。これにより米国アップル社からの世界開発会議への招待、銀座でのスピーチなど、国内外を飛び回り、あふれる好奇心とともに「今」を楽しんでいる。
 ～年齢にとらわれない生き方やIT活用事例(災害時など)をお話いただきます～

日時	7月11日(木)13:30～15:30 ※開場13:00
会場	港北公会堂 ホール
定員	200名 ※港北区在住の方
申込み	二次元コード https://forms.office.com/r/uUz9YW27LM  FAX ※裏面申込書を送信してください

社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
 TEL 045-547-2324 / FAX 045-531-9561
 お問い合わせは 月～土曜日、9～17時の間をお願いします



(3) 会員向け情報発信

本会主催の正会員向けセミナーや寄付物品チラシ、活動支援情報などの情報を発信しました。紙媒体に加えてウェブ上での情報発信を行うため、新たに本会ホームページに会員専用ページを作成しました。



(4) 分科会活動の活性化

- ① 連合自治会町内会分科会
- ② 民生委員児童委員分科会
- ③ 地区社会福祉協議会分科会
- ④ ボランティア・市民活動分科会
- ⑤ 在宅福祉分科会
- ⑥ 障害者セーフティネット分科会
- ⑦ 保育所分科会

- ※Ⅲ-1 掲載
- ※V-3 掲載
- ※V-4 掲載
- ※V-5 掲載
- ※V-6 掲載

2 信頼性の高い組織運営

社会福祉法に基づき、経営組織のガバナンスを強化するとともに、地域福祉の推進を目的とする非営利団体としての認識を深め、地域に根ざした活動を推進し、また会員相互の連携・協働により公益的な取組みを推進しました。

(1) 理事会 ()は出席者数 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

	開催日	主な内容	結果
1	6月6日 理事(9) 監事(2)	1 令和5年度 事業報告並びに一般会計収入支出決算について 2 評議員選任候補者の推薦について 3 評議員選任・解任委員会 委員の選任について 4 評議員選任・解任委員会の招集について 5 定時評議員会の招集について 6 処務規程の改正について 7 旅費規程の改正について 8 会員の入会について	全て原案 どおり承認
2	10月17日(書面審議 【決議の省略】) 理事(10) 監事(3)	1 令和6年度 第1回補正予算案について 2 評議員会の開催について(書面開催) 3 評議員選任候補者の推薦について 4 評議員選任・解任委員会の開催について(書面開催) 5 顧問の選任について	全て原案 どおり承認
3	3月6日 理事(8) 監事(2)	1 令和6年度 第2回補正予算案について 2 令和7年度 事業計画並びに一般会計収入支出予算案について 3 会員の入会承認について 4 令和6年度 第3回評議員会の招集について 5 令和7年度 役員等の賠償責任保険契約締結について	全て原案 どおり承認

(2) 評議員会 ()は出席者数 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

	開催日	主な内容	結果
1	6月21日 評議員(19)	1 令和5年度 事業報告並びに一般会計収入支出決算について 2 理事の選任について	全て原案 どおり承認

2	11月24日(書面審議 【決議の省略】 評議員(21)	1 令和6年度 第1回補正予算案について 2 理事の選任について	全て原案 どおり承認
3	3月24日 評議員(18)	1 令和6年度 第2回補正予算案について 2 令和7年度 事業計画並びに一般会計収入支出予算案について	全て原案 どおり承認

(3) 監事会 ()は出席者数 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

	開催日	主な内容	結果
1	5月30日 監事(3)	令和5年度 港北区社会福祉協議会事業執行状況、経理状況及び財産状況の監査	正しく適正 であると認 める

(4) 評議員選任・解任委員会 ()は出席者数

	開催日	主な内容	結果
1	6月14日(書面審議 【決議の省略】 委員(4)	評議員の選任について	全て原案 どおり承認
2	11月20日(書面審議 【決議の省略】 委員(4)	評議員の選任について	全て原案 どおり承認

(5) 三役会

	開催日	主な内容	結果
1	2月13日 副会長(2)	港北区社会福祉協議会運営方針等について	全て原案 どおり承認

(6) 部会

- ①地域部会
- ②当事者部会
- ③専門部会
- ④学識部会

(7)委員会・各種会議

- ①ボランティアセンター運営委員会 ※Ⅳ－1掲載
- ②港北区ふれあい助成金審査会・港北区みんなの助成金審査会 ※Ⅲ－6掲載
- ③港北区年末たすけあい配分委員会(11月7日)
- ④顕彰審査会(8月22日)
- ⑤評議員選任・解任委員会 (再掲)
- ⑥港北区地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」策定・推進会議 ※Ⅲ－2掲載
- ⑦移動情報センター推進会議 ※Ⅱ－3掲載

3 ボランティア・市民活動分科会

<ひっと つながる－1>

子育て・高齢者支援など、幅広い分野のボランティア・市民活動を行う団体が集まり、特色を活かした取組みを行いました。分科会会員が主体となり、共通の課題解決や活動活性化のための講座などを企画・立案し、活動の充実を図りました。

また、港北区ボランティアセンターと連携し、区域のボランティア活動の動向とのつながりを意識しました。

(1)定例会の開催 ※場所:港北区福祉保健活動拠点

回	開催日 出席者数	主な内容
1	4月19日 4名	1 令和6年度の活動について 2 各団体より
2	5月17日 4名	1 令和6年度の活動について 2 各団体より
3	7月19日 4名	1 令和6年度の活動について 2 各団体より
4	9月20日 4名	1 令和6年度の活動について 2 各団体より
5	10月18日 6名	1 令和5年度の活動について (1)ボランティア・市民活動分科会について 2 各団体より

6	11月22日 6名	1 今後のボランティア・市民活動分科会の運営について (1)第6回 ボランティア・市民活動分科会より (2)区社協会員とボランティア分科会会員について (3)今後の分科会運営について(意見交換) 2 各団体より
7	12月20日 6名	1 ボランティア・市民活動分科会について(ふりかえり) (1)分科会 定例会 (2)講座 (3)PR チラシ(ほくほくフェスタにて配布・掲示) 2 ボランティア・市民活動分科会運営について(意見交換) 3 各団体より
8	1月17日 6名	1 令和6年度 ボランティア・市民活動分科会について 2 各団体より
9	2月20日 6名	1 令和6年度 ボランティア・市民活動分科会について 2 各団体より
10	3月15日 6名	1 令和6年度 ボランティア・市民活動分科会について 2 各団体より

(2) 講座の開催 【再掲】

ハイドロカルチャー講座

4 在宅福祉分科会

<ひっと つながる-2>

年齢や障害の有無に関わらず、支援を必要としている人が在宅で安心して暮らしていくために、地域のボランティア団体や福祉施設が連携して、ネットワークづくりを進めました。

フォーマルサービス・インフォーマルサービスが連動した地域の中で支えあえる仕組みづくりについて共有・検討を行いました。

(1) 構成メンバー

ボランティア団体、高齢者施設、ワーカーズコレクティブ、企業など

(2) 定例会の開催

回	開催日 出席者数	主な内容
1	5月29日 3名	・令和6年度活動計画について/情報交換会
2	7月24日 6名	・見学会「すいとぴー新横浜」

3	9月 25 日 5名	・情報交換会
4	11月 27 日 8名	・勉強会「フレイル予防・健康体操」
5	1月 22 日 7名	・お悩み相談会 ①生活支援 CO について ②地域、活動団体の課題について ③意見交換
6	3月 26 日 4名	・今年度の振り返り ・次年度に向けて

5 障害者セーフティネット分科会

<ひっと つながる-1>

障害当事者団体・支援団体・ボランティア団体などとともに、障害の有無に関わらず、支援を必要としている人が地域で安心して暮らすためのネットワークづくりを進めました。会員相互の交流や障害理解のための啓発活動を行うほか、港北区地域自立支援協議会と連携して取組みを進めました。

(1) 構成メンバー

当事者団体・家族団体、福祉施設、支援機関など

(2) 役員会の開催

回	開催日 出席者数	主な内容
1	4月 19 日 6名	・令和6年度～7年度新役員体制について ・ひっとプラン港北 策定・推進委員の選出について ・令和6年度の活動計画について
2	6月 21 日 7名	・活動発表会について ・映画会について
4	10月 18 日 6名	・警察との情報交換会について ・活動発表会について
5	12月 20 日 5名	・映画会について ・活動発表会について
6	2月 21 日 5名	・映画会について ・令和7年度の活動について

(3) 定例会の開催

回	開催日 出席者数	主な内容
1	5月17日 13名	・災害ボランティア連絡会との情報交換会 ・港北区自立支援協議会について ・令和6年度の活動について ・「ひっとプラン港北」策定・推進委員について
2	7月19日 16名	・活動発表会「かれん」 ・令和6年度 年間実施内容について
3	9月20日 14名	・活動発表会「しんよこはま地域活動ホーム」 ・映画会「梅切らぬバカ」について ・警察との情報交換会について
4	11月15日 12名	・警察との情報交換会 ・活動発表会「移動情報センター」 ・活動発表会について ・映画会について
5	1月17日 11名	・勉強会「水害について」 ・見学会「び・すけっと菊名」
6	3月21日 12名	・活動発表会「活動ホームについて」 ・映画会の振り返り ・令和7年度の活動について

(4) イベントの開催

①手話講座はじめての一步～手話で話してみよう！～

8月6日 参加者 17名

場所 港北区福祉保健活動拠点 多目的研修室

内容 小学生対象の手話講座

(あいさつ、自己紹介、簡単な単語、会話練習、手話コース)



②映画「梅切らぬバカ」上映会

3月1日 来場者 220名

場所 港北公会堂

内容 障害理解啓発に関する映画の上映、区内作業所製品の販売

※港北区地域自立支援協議会との共同企画



6 保育所分科会

<ひっと ひろがる-2>

公立・私立保育所の枠を超えたネットワークを活かして、区内の子育てをめぐる様々な課題の共有・解決の場としました。また、地域組織や団体と連携して子育てを考える機会を設けるとともに、分科会参画団体の拡充を図りました。

(1) 構成メンバー

本会正会員の認可保育所など

(2) 役員会 ※場所: 港北区福祉保健活動拠点

回	開催日 出席者数	主な内容
1	5月10日 5名	・5月定例会の流れについて ・本年度事業計画について ・7月の定例会の内容について確認
2	7月12日 5名	・7月定例会の流れについて ・9月定例会の内容について確認
3	9月13日 5名	・9月定例会の流れについて ・11月定例会の内容について確認
4	11月8日 4名	・11月定例会の流れについて ・12月定例会の内容について確認
5	12月17日 5名	・2月定例会の流れについて ・3月定例会の内容について確認
6	2月14日 5名	・3月定例会の流れについて ・役員選出について ・令和7年度事業計画についての確認

(3) 定例会の開催 ※場所: 港北区福祉保健活動拠点

回	開催日 出席者数	主な内容
1	5月10日 19名	・令和6年度事業計画について ・情報交換会について
2	7月12日 25名	・「保育に活かせる遊びを一緒に学ぼう」講座
3	9月13日 26名	・防災について
4	11月8日 20名	・「ふれあい体験授業」について 地域子育て支援団体との交流会

5	12月17日 22名	・「障害理解について」講義
6	2月14日 11名	・今年度の振り返り、来年度の事業計画について ・役員選出について

(4) 区内子育て支援団体との交流会の開催(9月13日 定例会にて実施)

区内子育て支援団体より、中学校と連携した事業「ふれあい体験授業」について講義していただきました。

講義後、グループに分かれて情報交換会、「ふれあい体験授業」について話し合いました。

(5) 研修会の開催

【講座】

「保育に活かせる遊びを一緒に学ぼう」

講師:ジャンプ保育園 園長 蓬田 則之氏 (保育所分科会 副会長)

開催:7月12日 参加者 25名

「障害理解について」

講師:港北区社協 移動情報センター 職員 西脇 太郎氏 (臨床心理士/公認心理師)

開催:12月17日 参加者 22名

「防災について」研修

講師:港北区役所危機管理・地域防災担当係長 森崎 健氏

開催:9月13日 参加者 26名

7 災害発生時に備えた体制の整備

大規模地震災害や気象災害の発生時に設置される災害ボランティアセンターの運営に備えるため、区担当課や区災害ボランティア連絡会との日ごろから連絡調整を継続するとともに、災害時の対応の訓練実施やマニュアルの共有を通じて体制づくりを行いました。加えて、区役所や横浜市災害ボランティア支援センター、近隣区の災害ボランティアセンターとの連携強化・情報共有を進めました。

(1) 災害ボランティア登録シミュレーション(10月3日)

参加者:港北区社会福祉協議会職員 10名、横浜市社会福祉協議会職員3名

(2) 災害ボランティアセンターの開設訓練及び運営シミュレーション訓練の実施(12月7日)

参加者: 港北区社会福祉協議会職員 10 名、港北区災害ボランティア連絡会会員 10 名、
区役所職員1名、その他2名

8 苦情解決システムの充実

住民が意見・要望を言いやすい環境をつくるとともに、積極的に意見・要望などを聴取し、環境整備や業務改善を行いました。苦情を貴重なニーズとして真摯に受け止め、本会の事業推進やサービスの質の向上に努めました。

(1) 窓口満足度調査の実施(11月1日～11月30日 回答数 90件)

(2) 「ご意見箱」の設置(年間/件数 0件)

(3) 苦情受付件数(年間/件数 0件)

9 コンプライアンス・リスクマネジメントの推進

コンプライアンスの推進とリスクマネジメントを職員間で徹底するとともに、事故発生時の基本的な対応を再度見直し徹底しました。また、日常業務でヒヤリハットの報告および事故の原因と改善策について共有を行いました。

(1) 職員会議や日常業務でヒヤリハット・事故内容と改善策を共有(朝・タミーティング時に実施)

(2) 外部研修・会議への参加(1回)

(3) 自主防災訓練(2回)

10 多様な働き方の推進

働き方改革の実現に向け、働き手のニーズの多様化に対応できるよう時差出勤など勤務調整を行いました。また、ICTの整備および活用を継続し、日常業務の効率化を図りました。

1 1 情報公開・個人情報保護制度の運用

社会福祉法の理念に基づき、本会の情報公開制度を適切に利用しながら、透明性・信頼性の高い事業運営を行いました。あわせて個人情報保護に関する研修を実施し、意識啓発と個人情報の保護に努めました。

1 2 財政運営の適正化

本会活動を進めていくため、賛助会費など自主財源の安定的な確保と財政運営の適正化に努めます。また、広報紙やホームページなどを通じ、本会活動や事業、会費などの活用について広く発信します。

種別	正会費	世帯会費	賛助会費
会費(円)	1,152,400	4,133,402	15,969,500

1 3 職員の育成

横浜市社協人材育成計画に沿って、常勤・非常勤を含め内部研修や外部研修を活用し必要な知識・技術の研鑽に努め、職員の専門性を高めました。さらに目標管理や人事考課制度を活用して、職員が立場と組織目標を認識して業務に取り組みました。また、社会福祉士相談援助実習の受入れを行い福祉人材の育成に寄与しました。

外部研修〔全社協・県社協主催のみ〕(開催数)	参加者(名)
社会福祉協議会 新任職員研修会・フォローアップ研修(5回)	1
生活福祉資金(教育支援資金)関連業務研修(6回)	2
生活支援コーディネーター研修(2回)	1
社会福祉士実習指導者講習会(2回)	1

1 4 法人運営・経理事務の効率化

クラウドサービス等による情報共有など、IT の活用により、法人運営および経理事務の効率化を図りました。

- (1) グループウェアの活用による情報共有およびスケジュール管理の効率化
- (3) クラウドストレージサービスの活用による情報共有
- (5) インターネットバンキングの活用
- (6) 出納日の固定化、出納事務の省力化

1 5 団体事務

福祉関係団体の事務局として、各団体の自主的な活動を支援するとともに、相互の連携により地域福祉を推進しました。

- (1) 神奈川県共同募金会横浜市港北区支会
- (2) 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港北区地区委員会
- (3) 港北区更生保護女性会
- (4) 港北区遺族会
- (5) 港北区「社会を明るくする運動」実施委員会

令和6年度 港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金 配分団体一覧表

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
要援護者支援	集いの場	1001	おれんじの会	400,000
要援護者支援	集いの場	1002	フリースペースほっぷ	80,000
要援護者支援	集いの場	1003	宮前交流カフェプロジェクト	80,000
要援護者支援	集いの場	1004	ハッピーママ	50,000
要援護者支援	集いの場	1005	まちの縁側「そよご」	45,000
要援護者支援	集いの場	1006	わだねの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1007	いきいきの会	80,000
要援護者支援	配食	1008	配食よつ葉会	80,000
要援護者支援	集いの場	1009	コーヒーサロンわいわい城郷	80,000
要援護者支援	集いの場	1010	樽町なごみ食堂	80,000
要援護者支援	集いの場	1011	キッチン・いこい	80,000
要援護者支援	集いの場	1012	サロンたる	40,000
要援護者支援	集いの場	1013	なごみ会	80,000
要援護者支援	集いの場	1014	はなみずき会サロン	50,000
要援護者支援	集いの場	1015	師岡こども学習会	80,000
要援護者支援	集いの場	1016	篠原東福祉部 いこいの集い	80,000
要援護者支援	集いの場	1017	城郷地区「こどもの居場所」実行委員会(たまりBAこづくえ)	120,000
要援護者支援	集いの場	1018	WAIWAIみんなの箕輪クラブ	40,000
要援護者支援	集いの場	1019	ミニデイサービス「西町のつどい」	80,000
要援護者支援	集いの場	1020	折り紙を楽しむ会	30,000
要援護者支援	集いの場	1021	コーヒーボランティアらんらん	80,000
要援護者支援	集いの場	1022	太尾っ子広場	80,000
要援護者支援	集いの場	1023	ふらっと高田	400,000
要援護者支援	集いの場	1024	特定非営利活動法人 横浜子育て支援グループ ぽっけ	80,000
要援護者支援	集いの場	1025	なごみの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1026	花しょうぶ	80,000
要援護者支援	集いの場	1027	クローバーカフェKIKUNA	80,000
要援護者支援	集いの場	1028	菊名南町ボランティア ひな菊	80,000
要援護者支援	集いの場	1029	かもめのつどい	80,000
要援護者支援	集いの場	1030	いこいの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1031	サロン・コンフォール南日吉	80,000
要援護者支援	集いの場	1032	元気な笑顔	80,000
要援護者支援	家事・生活支援	1033	ほっと新吉田	160,000
要援護者支援	集いの場	1034	特定非営利活動法人ポケット	80,000
要援護者支援	集いの場	1035	スリーA教室 元気!!	40,000
要援護者支援	集いの場	1036	みんなの広場	50,000
要援護者支援	集いの場	1037	クローバー会(クローバーカフェ)	40,000
要援護者支援	集いの場	1038	港北ユーステーブル	80,000
要援護者支援	集いの場	1039	ミニ樽サロン運営委員会	80,000
要援護者支援	集いの場	1040	男の料理教室	80,000
要援護者支援	集いの場	1041	「ダンラン」男同志の昼食会	80,000
要援護者支援	集いの場	1042	サロンこもれび	50,000
要援護者支援	集いの場	1043	おおそねちびサロン	50,000
要援護者支援	配食	1044	綱島東ボランティア	80,000
要援護者支援	集いの場	1045	ちびたる	180,000
要援護者支援	集いの場	1046	りんどうの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1047	子育てサロンはひふへほ	180,000
要援護者支援	集いの場	1048	太尾フレンドサロン・いこい	50,000
要援護者支援	集いの場	1049	ボランティア下田	80,000
要援護者支援	集いの場	1050	あやめの会	80,000

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
要援護者支援	集いの場	1051	菊名の居場所 あったか	300,000
要援護者支援	集いの場	1052	精神保健福祉ボランティアGそら 俳句仲間道灯り	80,000
要援護者支援	集いの場	1053	下田子育て応援会	80,000
要援護者支援	集いの場	1054	スリーAにつばっぱ	40,000
要援護者支援	集いの場	1055	ベビそね	80,000
要援護者支援	送迎	1056	移動サービスワーカーズコレクティブ らら・むーぶ港北	350,000
要援護者支援	集いの場	1057	こんぺいとうさん	80,000
要援護者支援	集いの場	1058	こどものへや文庫	80,000
要援護者支援	集いの場	1059	青少年育成支援の会	50,000
要援護者支援	集いの場	1060	地域食堂 ダイニング28	80,000
要援護者支援	集いの場	1061	ほのぼ～の	40,000
要援護者支援	集いの場	1062	レコードミュージックプラザ	80,000
要援護者支援	集いの場	1063	おおきくなあれ	180,000
要援護者支援	集いの場	1064	新横浜民児協 かもねくらぶ	80,000
要援護者支援	集いの場	1065	子育て支援グループ まーぶる	80,000
要援護者支援	集いの場	1066	学びのサロンとりやまアカデミア	120,000
要援護者支援	家事・生活支援	1067	港北・家事介護ワーカーズコレクティブ「いずみ」	400,000
要援護者支援	集いの場	1068	ミニデイサービス お茶の間	80,000
要援護者支援	送迎活動	1069	コミバス市民の会	300,000
要援護者支援	集いの場	1070	お話し聴くとも会	120,000
要援護者支援	集いの場	1071	樽町かがやきグループ スポーツクラブ	50,000
要援護者支援	集いの場	1072	さつきクラブ	80,000
要援護者支援	集いの場	1073	みちくさの会	80,000
要援護者支援	集いの場	1074	子育てサロン「よしだっこ」	120,000
要援護者支援	集いの場	1075	城郷ひろば	120,000
要援護者支援	配食	1076	綱島西ボランティアグループ	80,000
要援護者支援	集いの場	1077	あったかだ	60,000
要援護者支援	集いの場	1078	大豆戸民児協 まめのきひろば	80,000
要援護者支援	集いの場	1079	すみれのびのび体操	60,000
要援護者支援	集いの場	1080	大倉山地区社会福祉協議会	300,000
要援護者支援	集いの場	1081	カラダづくりサロン鳥山健康大学	80,000
要援護者支援	集いの場	1082	茶処ま～め～ど	180,000
要援護者支援	集いの場	1083	NPO法人街カフェ大倉山ミエル	400,000
要援護者支援	集いの場	1084	おはなし、な～に？	70,000
要援護者支援	配食	1085	水曜ランチ ホットカフェ	240,000
要援護者支援	集いの場	1086	熊野の森もろおかスタイル	80,000
要援護者支援	集いの場	1087	綱島地区「ふれあいサロン」	35,000
要援護者支援	集いの場	1088	キキの会	300,000
要援護者支援	集いの場	1089	こゆず	180,000
要援護者支援	家事・生活支援	1090	太尾ふれあいクラブ	160,000
要援護者支援	集いの場	1091	郷づくり濱なかま	120,000
要援護者支援	集いの場	1092	篠原北地区民生委員児童委員協議会	80,000
要援護者支援	集いの場	1093	ここみて港北	120,000
要援護者支援	集いの場	1094	仲手原南ボランティア夢クラブ	60,000
要援護者支援	集いの場	1095	かもみいる運営委員会	80,000
要援護者支援	集いの場	1096	子育てサロンたんぼぼにつば	120,000
要援護者支援	集いの場	1097	高田コミュニティカフェゆずの樹	400,000
要援護者支援 集計				10,970,000

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
障害児者支援	当事者活動	2001	横浜レインボー	120,000
障害児者支援	障害児者支援	2002	フリッパーの会	120,000
障害児者支援	当事者活動	2003	横浜ドリーマー マーメイド	120,000
障害児者支援	障害児者支援	2004	ヒップホップダンスクラブ	120,000
障害児者支援	当事者活動	2005	ツインバスケットボールを楽しむ会	180,000
障害児者支援	当事者活動	2006	横浜レジェンド	80,000
障害児者支援	視聴覚障害者支援	2007	33(mimi)サークル	50,000
障害児者支援	障害児者支援	2008	ラポールFC	80,000
障害児者支援	障害児者支援	2009	白梅会	100,000
障害児者支援	当事者活動	2010	グループペンギンA	80,000
障害児者支援	障害児者支援	2011	ダンスワークかれん	80,000
障害児者支援	障害児者支援	2012	水泳同好会サッシュュ	80,000
障害児者支援	当事者活動	2013	横浜ドリーマー フライングディスククラブ	50,000
障害児者支援	当事者活動	2014	ピアサポート・L	60,000
障害児者支援	当事者活動	2015	ドリーマ・サンワテニスクラブ	50,000
障害児者支援	障害児者支援	2016	スイミー	100,000
障害児者支援	当事者活動	2017	横浜ドリーマー アーチェリークラブ	50,000
障害児者支援	障害児者支援	2018	おひさまっ子の会水泳部	100,000
障害児者支援	視聴覚障害者支援	2019	港北録音グループ	50,000
障害児者支援	当事者活動	2020	ラポール卓友会	180,000
障害児者支援	当事者活動	2021	横浜ドリーマーショートテニスクラブ	180,000
障害児者支援	当事者活動	2022	横浜ボッチャ倶楽部	80,000
障害児者支援	障害児者支援	2023	グループペンギンB	80,000
障害児者支援	当事者活動	2024	高田パソコンクラブ	40,000
障害児者支援	障害児者支援	2026	声を楽しむ声楽教室	180,000
障害児者支援	当事者活動	2027	しらゆり会	80,000
障害児者支援	障害児者支援	2028	めだか会	130,000
障害児者支援	障害児者支援	2029	光る波(シュタイナーを学び障がいを考える会)	80,000
障害児者支援	障害児者支援	2030	こどものためのハチャメチャアトリエ	60,000
障害児者支援	障害児者支援	2031	ABM	120,000
障害児者支援	当事者活動	2032	ディスクレイジー	40,000
障害児者支援	障害児者支援	2033	YOKOHAMA Bay Dream P.S.C	100,000
障害児者支援	当事者活動	2034	ラポール倶楽部 花みずき	95,000
障害児者支援	当事者活動	2035	横浜ボッチャーズ	40,000
障害児者支援	当事者活動	2036	横浜レッドブリックス	120,000
障害児者支援	障害児者支援	2037	横浜ひよこ教室 幼児部	100,000
障害児者支援	当事者活動	2038	横浜ドリーマーレクリエーションクラブ	200,000
障害児者支援	当事者活動	2039	音楽療法横浜グループ	80,000
障害児者支援	障害児者支援	2040	新風～SARAKAZE～	120,000
障害児者支援	当事者活動	2041	エンジェルの会	50,000
障害児者支援	当事者活動	2042	スポリハBALL会	120,000
障害児者支援	当事者活動	2043	わくわくポート	40,000
障害児者支援 集計				3,985,000
福祉のまちづくり		3001	ドルチェ	40,000
福祉のまちづくり		3002	ウクレレサークル ルア	40,000
福祉のまちづくり		3003	横浜港北おもちゃドクターの会	40,000
福祉のまちづくり		3004	大倉山支えあいまつり実行委員会	30,000
福祉のまちづくり		3005	NPO法人日吉子育て応援団	40,000
福祉のまちづくり		3006	日吉に子育てに関するネットワークを作る会	20,000
福祉のまちづくり		3007	下田farmers	40,000
福祉のまちづくり		3008	公園遊びの会 わくわく	40,000
福祉のまちづくり		3009	きくなびよんびよん	30,000

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
福祉のまちづくり		3010	ぞうさんの帽子	40,000
福祉のまちづくり		3011	港北おはなし会	40,000
福祉のまちづくり		3012	アトリエ つくろ	20,000
福祉のまちづくり		3013	おはなしキラキラぼっけ	40,000
福祉のまちづくり		3014	おひさまたんけんたい	40,000
福祉のまちづくり		3015	特定非営利活動法人精神保健を考える会 まいんどくらぶ	30,000
福祉のまちづくり		3016	子どもの居場所を考える会	30,000
福祉のまちづくり		3017	港北文庫のつどい	30,000
福祉のまちづくり		3018	特定非営利活動法人 青少年育成開発協会	40,000
福祉のまちづくり		3019	日吉キッズステーション	40,000
福祉のまちづくり		3020	ポコ・ア・ポコ	40,000
福祉のまちづくり		3021	ハンディを持つ人のためのミニフォーラム 咲良	30,000
福祉のまちづくり		3022	ハロークラブ	20,000
福祉のまちづくり		3023	任意団体 海街	40,000
福祉のまちづくり		3024	遊びと表現企画『ちびっこがちゃぼん』	40,000
福祉のまちづくり		3025	鯛ヶ崎お話し会	40,000
福祉のまちづくり		3026	みんなの広場	30,000
福祉のまちづくり		3027	スリーAたる	40,000
福祉のまちづくり		3028	ゆるこう会	40,000
福祉のまちづくり		3029	風と子どもたち	30,000
福祉のまちづくり		3030	公園あそびの会 おるたん	40,000
福祉のまちづくり		3031	ちびっこ探検隊	40,000
福祉のまちづくり		3032	宿根町内会 見守り隊	40,000
福祉のまちづくり		3033	港北区子育て支援ボランティア「ポケット」	30,000
福祉のまちづくり		3034	ふたごザウルス	19,000
福祉のまちづくり		3035	菊名フードバントリー	38,000
福祉のまちづくり		3036	大倉山ブックカフェの会	40,000
福祉のまちづくり		3037	ボランティアサークル まごの手	30,000
福祉のまちづくり		3039	スマイルコンサート実行委員会	30,000
福祉のまちづくり		3040	Tomodachi Club(港北くみんの会)	30,000
福祉のまちづくり 集計				1,357,000
健康増進		4001	おまめアップチーム	10,000
健康増進		4002	粋な男の体操サークル	10,000
健康増進		4003	伸び伸びスターズ	10,000
健康増進		4004	ウォーキングくらぶたんぼぼ	10,000
健康増進		4005	カラフルチューン	10,000
健康増進		4007	新羽シニアストレッチ	10,000
健康増進		4008	シルバー健康体操宮前教室	10,000
健康増進 集計				70,000
港北区ふれあい助成金 合計				16,382,000
イベント		5001	新吉田地区ふれあい動物園実行委員会	200,000
イベント		5002	梅の丘公園ミュージックFES実行委員会	200,000
イベント		5003	第40回大倉山秋の芸術祭	200,000
イベント		5004	港北区教育懇談会	200,000
イベント		5005	大倉山夢まちづくり実行委員会	200,000
イベント 集計				1,000,000
地区別計画推進		8001	菊名地区ひとつプラン推進委員会	50,000
地区別計画推進		8002	光と活力「ふくふくプロジェクト」	100,000
地区別計画推進		8003-①	ハートフル大曽根	50,000
		8003-②	ハートフル大曽根	45,000
地区別計画推進		8004-①	たすけあうまち城郷推進委員会	40,000
		8004-②	たすけあうまち城郷推進委員会	50,000

助成区分	小区分	番号	団体名	助成申込金額
地区別計画推進		8005-①	大倉山地区社会福祉協議会(地域福祉保健計画推進委員会)	30,000
		8005-②	大倉山地区社会福祉協議会(地域福祉保健計画推進委員会)	70,000
地区別計画推進		8006	「ひっとプラン港北」綱島地区計画推進委員会	75,000
地区別計画推進		8007	樽地区計画推進委員会	100,000
地区別計画推進		8008	新羽町健康づくり部会	70,000
地区別計画推進 集計				680,000
小規模集いの場活動		9001	しろさと地区放課後プラザ	40,000
小規模集いの場活動		9002	横浜北部失語症友の会	50,000
小規模集いの場活動 集計				90,000
港北区みんなの助成金 合計				1,770,000
港北区ふれあい助成金・港北区みんなの助成金 合計				18,152,000

令和6年度 港北区社会福祉協議会決算概要

令和6年度決算は、収入総額1億4,732万1,791円、支出総額9,691万8,126円となり、収支差額（支払資金残高）は5,040万3,665円となりました。当期資金収支差額（小計）は△48万3,766円となり、年度としてバランスの取れた収支となりました。

収入支出の内訳は、会費、共同募金配分金、寄付金が収入の52%、対する支出の49.9%を助成金が占め地区社協をはじめとする地域福祉活動の貴重な財源となっています。

資金収支計算書(P2)抜粋

(単位:円)

	収入①	支出②	収支差額③=①-②
事業活動による収支	96,434,360	96,782,056	△ 347,696
施設整備等による収支	0	136,070	△ 136,070
その他の活動による収支	0	0	0
当期資金収支差額（小計）	96,434,360	96,918,126	△ 483,766
前期支払資金残高	50,887,431	—	50,887,431
合計	147,321,791	96,918,126	50,403,665

事業活動による収支

A 収入の内訳

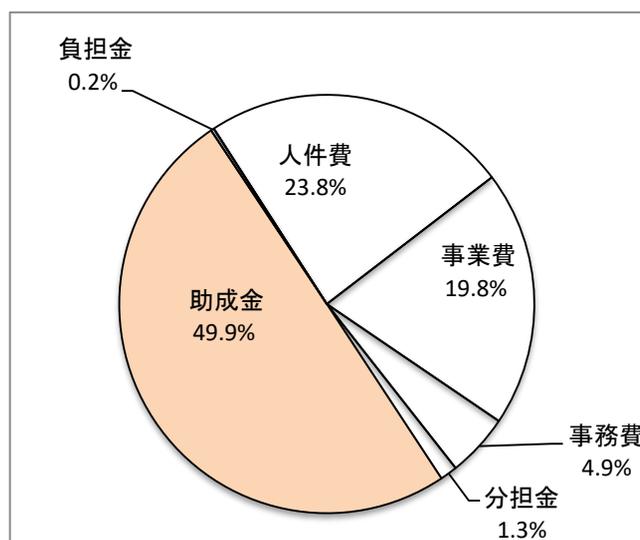
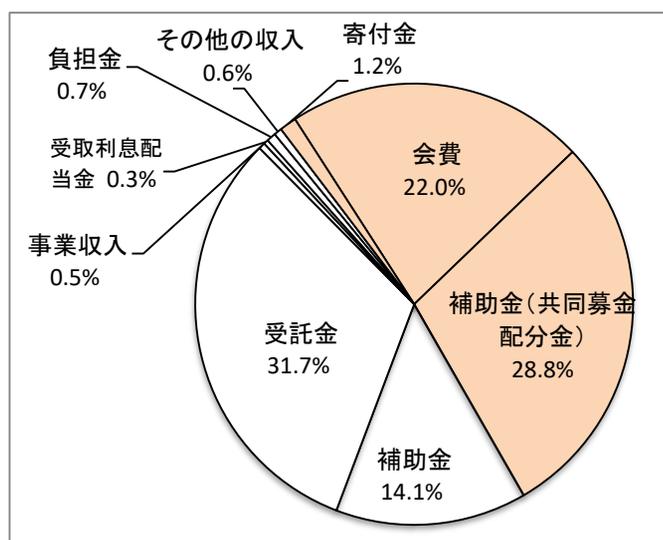
(単位:円)

会費収入	21,255,302
寄付金収入	1,201,098
経常経費補助金収入	41,382,924
受託金収入	30,594,397
事業収入	457,410
負担金収入	652,534
受取利息配当金収入	330,560
その他の収入	560,135
合計	96,434,360

B 支出の内訳

(単位:円)

人件費支出	23,038,657
事業費支出	19,171,717
事務費支出	4,736,449
分担金支出	1,303,064
助成金支出	48,291,169
負担金支出	241,000
その他の支出	—
合計	96,782,056



資金収支計算書総括表

法人：社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
 事業：社会福祉事業
 拠点：法人運営及び区社協実施事業

(自) 令和6年04月01日
 (至) 令和7年03月31日

1 / 1
 (単位：円)

サ ー ビ ス 区 分	事業活動による収支		施設整備等による収支		その他の活動による収支			予備費支出(10)	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	前期末支払資金残高(12)	当期末支払資金残高(11)+(12)
	事業活動収入計(1)	事業活動支出計(2)	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	施設整備等収入計(4)	施設整備等支出計(5)	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	その他の活動収入計(7)				
法人運営	26,974,812	13,440,032	13,534,780	0	0	0	244,831	14,045,316	△13,800,485	13,937,861	13,672,156
ボートイベント事業	111,800	475,285	△363,485	0	0	0	136,400	0	△227,085	1,095,866	868,781
地区社協活動支援事業	650,000	14,437,550	△13,787,550	0	0	0	13,787,550	0	0	0	0
福祉保健活動拠点運営	17,182,425	17,388,354	△205,929	0	136,070	△136,070	0	0	0	978,961	636,962
共同募金配分事業	27,894,624	28,125,347	△230,723	0	0	0	553,790	553,790	0	18,644,978	18,414,255
善意銀行運営	1,201,098	39,445	1,161,653	0	0	0	770,000	1,692,400	△922,400	15,235,006	15,474,259
移動情報センター事業	11,236,431	11,224,498	11,933	0	0	0	0	0	11,933	21,252	33,185
権利擁護事業	568,410	568,410	0	0	0	0	0	0	0	80,358	80,358
地域福祉推進事業	282,000	282,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みんなの助成金配分事業	10,002,200	10,801,135	△798,935	0	0	0	1,568,935	770,000	798,935	0	0
福祉基金	330,560	0	330,560	0	0	0	0	0	330,560	893,149	1,223,709
合 計	96,434,360	96,782,056	△347,696	0	136,070	△136,070	17,061,506	17,061,506	△483,766	50,887,431	50,403,665

法人単位資金収支計算書

(自)令和6年04月01日 (至)令和7年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事業：法人全体

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入	21,457,000	21,255,302	201,698	
	寄附金収入	1,000,000	1,201,098	△201,098	
	経常経費補助金収入	43,382,000	41,382,924	1,999,076	
	受託金収入	31,570,000	30,594,397	975,603	
	事業収入	388,000	457,410	△69,410	
	負担金収入	700,000	652,534	47,466	
	受取利息配当金収入	331,000	330,560	440	
	その他の収入	77,000	560,135	△483,135	
	事業活動収入計(1)	98,905,000	96,434,360	2,470,640	
支出	人件費支出	26,791,000	23,038,657	3,752,343	
	事業費支出	21,770,000	19,171,717	2,598,283	
	事務費支出	6,547,000	4,736,449	1,810,551	
	分担金支出	1,297,000	1,303,064	△6,064	
	助成金支出	52,146,000	48,291,169	3,854,831	
	負担金支出	221,000	241,000	△20,000	
事業活動支出計(2)	108,772,000	96,782,056	11,989,944		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△9,867,000	△347,696	△9,519,304		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	固定資産取得支出	0	136,070	△136,070	
施設整備等支出計(5)	0	136,070	△136,070		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	△136,070	136,070		
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支出				
	その他の活動支出計(8)	0	0	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0		
予備費支出(10)	41,125,000	-	41,020,000		
	△105,000				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△50,887,000	△483,766	△50,403,234		
前期末支払資金残高(12)	50,887,000	50,887,431	△431		
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	50,403,665	△50,403,665		

法人単位事業活動計算書

(自)令和6年04月01日 (至)令和7年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事業：法人全体

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	会費収益	21,255,302	21,905,541	△650,239
	寄附金収益	1,201,098	2,884,933	△1,683,835
	経常経費補助金収益	41,382,924	41,031,301	351,623
	受託金収益	30,594,397	31,789,251	△1,194,854
	事業収益	457,410	468,490	△11,080
	負担金収益	652,534	647,155	5,379
	サービス活動収益計(1)	95,543,665	98,726,671	△3,183,006
	費用			
	人件費	23,038,657	27,519,397	△4,480,740
	事業費	19,171,717	19,552,924	△381,207
	事務費	4,736,449	5,034,768	△298,319
	分担金費用	1,303,064	1,561,890	△258,826
助成金費用	48,291,169	49,761,479	△1,470,310	
負担金費用	241,000	238,000	3,000	
減価償却費	885,554	712,530	173,024	
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	△26,835	26,835	
サービス活動費用計(2)	97,667,610	104,354,153	△6,686,543	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△2,123,945	△5,627,482	3,503,537	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	330,560	308,029	22,531
	その他のサービス活動外収益	560,135	645,708	△85,573
	サービス活動外収益計(4)	890,695	953,737	△63,042
費用				
サービス活動外費用計(5)	0	0	0	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	890,695	953,737	△63,042	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△1,233,250	△4,673,745	3,440,495	
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)	0	0	0
	費用			
	固定資産売却損・処分損	0	1	△1
	その他の特別損失	0	155	△155
特別費用計(9)	0	156	△156	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	△156	156	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△1,233,250	△4,673,901	3,440,651	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	55,522,598	60,196,499	△4,673,901
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	54,289,348	55,522,598	△1,233,250
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	基金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(16)	0	0	0
	その他の積立金積立額(17)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	54,289,348	55,522,598	△1,233,250

法人単位貸借対照表

令和7年03月31日現在

法人：社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事業：法人全体

(単位：円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	58,066,699	58,451,125	△384,426	流動負債	7,663,034	7,563,694	99,340
現金預金	56,620,403	57,250,760	△630,357	事業未払金	4,226,175	5,098,888	△872,713
事業未収金	100,870	91,810	9,060	その他の未払金	2,945,509	1,888,576	1,056,933
未収金	1,088,771	732,000	356,771	預り金	486,350	576,230	△89,880
前払費用	256,655	376,555	△119,900	前受金	5,000	0	5,000
仮払金	0	0	0	負債の部合計	7,663,034	7,563,694	99,340
固定資産	229,825,704	230,575,188	△749,484	純資産の部			
基本財産	3,000,000	3,000,000	0	基本金	3,000,000	3,000,000	0
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	その他の積立金	222,940,021	222,940,021	0
その他の固定資産	226,825,704	227,575,188	△749,484	福祉基金積立金	222,940,021	222,940,021	0
車輜運搬具	4	4	0	次期繰越活動増減差額	54,289,348	55,522,598	△1,233,250
器具及び備品	3,885,679	4,635,163	△749,484	(うち当期活動増減差額)	△1,233,250	△4,673,901	3,440,651
福祉基金積立資産	222,940,021	222,940,021	0	純資産の部合計	280,229,369	281,462,619	△1,233,250
資産の部合計	287,892,403	289,026,313	△1,133,910	負債及び純資産の部合計	287,892,403	289,026,313	△1,133,910

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券等－償却原価法（定額法）
- ・上記以外の有価証券で時価のあるもの－決算日の市場価格に基づく時価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並びに器具及び備品－定額法
- ・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

当法人は、消費税等の会計処理として、税込方式による。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

該当なし

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の計算書類(会計基準省令第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)

(2) 事業区分別内訳表(会計基準省令第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)

当法人では、社会福事業のみであるため作成していない。

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、拠点が一つのため作成していない。

(4) 公益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、公益事業を実施していないため作成していない。

(5) 収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

(6) 法人運営及び区社協実施事業拠点計算書類（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）

(7) 拠点区分資金収支明細書（別紙3（Ⅹ））

(8) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（Ⅺ））

(9) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア 法人運営及び区社協実施事業拠点（社会福祉事業）

法人運営

ボランティアセンター事業

地区社協活動支援事業

福祉保健活動拠点運営

共同募金配分事業

善意銀行運営

移動情報センター事業

権利擁護事業

地域福祉活動推進事業

みんなの助成金配分事業

福祉基金

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	3,000,000	0	0	3,000,000

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

該当なし

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	560,880	560,876	4
器具及び備品	9,914,577	6,028,898	3,885,679
合 計	10,475,457	6,589,774	3,885,683

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
神奈川県第230回公募公債	50,000,000	48,948,500	△1,051,500
神奈川県第232回公募公債	50,000,000	48,780,900	△1,219,100
神奈川県第232回公募公債	50,000,000	48,805,000	△1,195,000
神奈川県第94回公募公債	20,000,000	19,452,000	△548,000
合 計	170,000,000	165,986,400	△4,013,600

11. 関連当事者との取引の内容

該当なし

12. 重要な偶発債務

該当なし

13. 重要な後発事象

該当なし

14. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

財産目録
令和7年03月31日現在

法人:社会福祉法人 横浜市港北区社会福祉協議会
事業:法人全体

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—		—	—	56,620,403
現金		—		—	—	33,500
小口現金		—		—	—	20,000
小口現金(一般)		—	運転資金として	—	—	20,000
その他の現金		—		—	—	13,500
その他の現金		—	運転資金として	—	—	13,500
預貯金		—		—	—	56,586,903
普通預金		—		—	—	56,586,903
1 普通預金(一般)		—	運転資金として	—	—	22,406,909
2 普通預金(共募)		—	運転資金として	—	—	19,339,335
3 普通預金(善銀)		—	運転資金として	—	—	14,840,659
4 振替口座(汎用)		—	振替口座として	—	—	0
8 振替口座(会費)		—	振替口座として	—	—	0
事業未収金		—	あんしんセンター利用料	—	—	100,870
未収金		—	補助金増額分 (福祉保健活動拠点)他	—	—	1,088,771
前払費用		—	保険料(施設賠償責任保険など)	—	—	256,655
仮払金		—		—	—	0
流動資産合計						58,066,699
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金		—		—	—	3,000,000
基本財産特定預金		—		—	—	3,000,000
定期預金(基本財産)	川崎信用金庫	—	基本財産として	—	—	3,000,000
基本財産合計						3,000,000
(2) その他の固定資産						
車輛運搬具	電動自転車	—	権利擁護事業	560,880	560,876	4
器具及び備品	防盜金庫、他	—	法人運営	9,914,577	6,028,898	3,885,679
福祉基金積立資産		—		—	—	222,940,021
普通預金(一般①)	川崎信用金庫	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	15,912,639
普通預金(一般②)	川崎信用金庫	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	37,027,382
国内公社債 (神奈川県第230回公募債)	野村証券	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	50,000,000
国内公社債 (神奈川県第232回公募債)	野村証券、みずほ証券	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	100,000,000
国内公社債(神奈川県債)	みずほ証券	—	みんなの助成金、地区社協活動支援のための原資	—	—	20,000,000
その他の固定資産合計						226,825,704
固定資産合計						229,825,704
資産合計						287,892,403
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金		—	人件費、事務費、他	—	—	4,226,175
その他の未払金		—	補助金戻入 (福祉保健活動拠点他)	—	—	2,945,509
預り金		—	ボランティア活動保険	—	—	486,350
前受金		—	次年度正会費	—	—	5,000
流動負債合計						7,663,034
固定負債合計						0
負債合計						7,663,034
差引純資産						280,229,369

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄に記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
- ・また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

監査報告書

令和7年5月29日

社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会
会長 川島 武俊 様

監事 家鍋 雄一郎 印

監事 米岡 由美恵 印

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。